

美術科調査資料 作成の観点

書名 項目	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> ○○○○ ○○○○ </div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象や事象を捉える造形的な視点を理解できるように、どのような工夫が見られるか。 ○創造的に表すことができるように、どのような工夫が見られるか。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるように、どのような工夫がされているか。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養うために、どのような工夫が見られるか。 <p><一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○形や色彩、材料や光などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりできるような工夫が見られるか。 ○鑑賞において、自分の価値観をもって批評し合うなど、言語活動が充実されるような工夫が見られるか。 ○単なる知識や理論の学習に偏らないような工夫が見られるか。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲を高めたり、発想を広げたりできるよう、どのような工夫が見られるか。 ○制作過程や仕組み、材料や用具の安全な使い方などを理解できるよう、どのような工夫が見られるか。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○題材の示し方や説明文には、生徒の興味・関心・意欲を高めたり、学習内容の理解を深めたりするために、どのような工夫が見られるか。 	
総 括	(全体的な特徴、その他)	

書名 項目	<h1>美術</h1>	9 開隆堂
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材を通して育成を目指す資質・能力の「小見出し」や、「作者のことば」によって造形的な視点を捉えられるような工夫がされている。 ○作品の制作の様子を段階的に示し、題材の内容に関連した巻末の「学びの資料」によって、より深く技能を理解できるような工夫がされている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の活動風景やアイデアスケッチ、考えるポイントが示され、どのように主題を生み出し、構想を練っていけばよいか理解できるような工夫がされている。 ○写真を大きく使った広がりのある紙面構成となっており、生徒の豊かな発想につながるように工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の意欲が高まるように「図画工作から美術へ」や「私たちに身近な美術」と題した資料を掲載する工夫が見られる。 ○振り返りができるように「作者のことば」を掲載し、「美術と私と社会」を掲載することで、社会と美術との関わりへの関心を高める工夫がされている。 <p><一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材の冒頭で〔共通事項〕を意識できるように説明文を示し、形や色彩などについて考えられるように工夫がされている。 ○「小見出し」を示すことで育成を目指す資質・能力が分かり、言語活動が充実されるように鑑賞の観点や手順が示されている。 ○知識や理論の学習に偏らないように、扉のページで学習に対して意欲を高める内容を示したり、美術を身近に感じられる作品を掲載したりするなどの工夫が見られる。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲を高めるために原寸や部分拡大、見開きの図版が掲載されている。 ○表紙に凹凸のある印刷を採用することにより、指先で触って作品の質感を想像することができるように工夫されている。 ○「美術の用語」という別枠があり、図や文章で説明するなどの工夫が見られる。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○UDフォントが使用されており、ルビ振りの対応も見られる。 ○全ページにおいてカラーユニバーサルデザインが採用されている。 ○それぞれの表記に共通したアイコンが用いられ、分類が見やすくなるよう工夫されている。 ○各題材に登場する共通のキャラクターを使用することにより、生徒の思考ポイントを導けるような工夫がされている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○表紙や見開きに写真を大きく掲載するなど、視覚的に生徒の関心・意欲を高める工夫がされており、多様な美術文化と楽しく出会うことができるよう工夫されている。 	

書名 項目	<h1>美術</h1>	38 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">光村</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材の冒頭に設けた鑑賞の問いかけや、「POINT」などの吹き出しによって、造形的な視点で捉えられるよう工夫されている。 ○題材の「表現」の項目で、制作途中を段階的に示し、巻末や別冊の「資料」へつなげることによって、より深く技能を理解できるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○発想や構想の手立てとして、生徒や作家、国内、海外の作品など、多様な参考作品が掲載されている。 ○参考作品に鑑賞の視点や考える視点を示すことによって、作品の鑑賞から表現活動につなげていけるように工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の意欲が高まるように「絵や彫刻の世界」や「みんなの工夫」と題した資料を掲載する工夫が見られる。 ○美術の学びを人生や社会に生かすことができるように「美術の力」や「うつくしい！」と題した資料が掲載されている。 <p><一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材の冒頭に〔共通事項〕を意識できるような問いかけを示し、形や色彩などについて考えられるように工夫がされている。 ○言語活動が充実されるよう、授業の流れを明確に示し、生徒の活動での心情や考えを吹き出しで紹介するなどの工夫がされている。 ○知識や理論の学習に偏らないように、生徒が試行錯誤しながら制作する様子を丁寧に紹介し、制作意図や内面性を大切にすることを伝える工夫が見られる。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲を高めるために見開きの図版が掲載されている。 ○技法などの資料をコンパクトな大きさの別冊にし、3年間の制作に活用できるように工夫されている。 ○鑑賞図版では用紙の種類を変え、生徒の学習意欲を高められるよう工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○UDフォントが使用されており、ルビ振りの対応も見られる。 ○全ページにおいてカラーユニバーサルデザインが採用されている。 ○それぞれの表記に共通したアイコンが用いられ、分類が見やすくなるよう工夫されている。 ○他教科とのつながりが表記されており、教科等横断的な学習の意識を高められるような工夫がされている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○別冊資料やQRコードにより、多くの資料が用意されており、技能や鑑賞など様々な視点から題材を理解できるように工夫されている。 	

書名 項目	<h1>美術</h1>	1 1 6 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">日 文</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材の冒頭の「鑑賞の入り口」という問いかけや、作品別の「造形的な視点」という吹き出しなどによって、造形的な視点を捉えられるように工夫されている。 ○題材の「表現のヒント」や「作者の言葉」、巻末の「学びを支える資料」によって、より深く技能を理解できるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「鑑賞の入り口」や「造形的な視点」を通して作品を造形的な視点で見つめ、見方や感じ方を深められるように工夫されている。 ○「表現のヒント」として主題を生み出す視点が示されており、思考力・判断力・表現力等の育成につなげる工夫が見られる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の意欲が高まるように「美術との出会い」や「学びの探求と未来」、「学びの実感と深まり」と題した資料を掲載する工夫が見られる。 ○美術の学びが生活や社会につながるように、様々な職業の人物紹介や「社会に生きる美術の力」が掲載されている。 <p><一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「造形的な視点」や「作者の言葉」で〔共通事項〕や主題を意識できるような問いかけが示され、形や色彩などについて考えられるように工夫されている。 ○自分の見方や感じ方を大切にしながら、表現の幅を広げ、言語活動が充実されるように、造形活動中に交流する写真を発想や構想の場面で示す工夫がされている。 ○知識や理論の学習に偏らないように、発想や構想に役立つ資料として、現役アーティストの制作過程と、造形活動に活用できる手立てが紹介されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲を高めるために原寸や部分拡大、見開きの図版が掲載されている。 ○作者の言葉・表現のヒント・造形的な視点の三つの見出しを設け、学習に活用できるように工夫されている。 ○題材を通して育成を目指す資質・能力が整理されて示されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○UDフォントが使用されており、ルビ振りの対応も見られる。 ○全ページにおいてカラーユニバーサルデザインが採用されている。 ○それぞれの表記に共通したアイコンが用いられ、分類が見やすくなるよう工夫されている。 ○題材タイトルの下に題材内容が短い文で、導入のための発問が設けられており、より深い学びにつながるよう工夫されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○題材の冒頭に鑑賞作品を掲載することで表現との関連が図られ、紙面構成に統一感があるため、各題材の学習の流れが理解できるように工夫されている。 	

美術科 調査資料 2

○分量について

内容		学年	開隆堂	光村	日文
1 総ページ数 ※目録に記載されたページ数		1年	71	69	75
		2・3年上	127	107	65
		2・3年下			61
2 QRコードの数		1年	16	65	34
		2・3年上	25	61	35
		2・3年下			24

○題材数等

内容		学年	開隆堂	光村	日文		
1 題材数		1年	12	19	18		
		2・3年上	23	24	17		
		2・3年下			15		
2 領域別	A 表現	感じ取ったこと や考えたこと を基に、絵 や彫刻などに 表現する活動	描く活動の 題材数	1年	4	7	5
				2・3年上	6	5	3
				2・3年下			4
		つくる活動 の題材数	1年	1	2	2	
			2・3年上	2	4	3	
			2・3年下			1	
	B 鑑賞	伝える、使う などの目的や 機能を考え、 デザインや工 芸などに表現 する活動	描く活動の 題材数	1年	2	2	3
				2・3年上	3	5	2
				2・3年下			1
		つくる活動 の題材数	1年	3	5	3	
			2・3年上	4	8	5	
			2・3年下			4	
美術作品などのよさや美し さを感じ取り味わう活動の 題材数		1年	12	19	18		
		2・3年上	23	24	17		
		2・3年下			15		

○作者等別作品数について

内容		学年	開隆堂	光村	日文
1 生徒の作品数 (作者名等の表示があるもの)		1年	55	57	85
		2・3年上	109	39	62
		2・3年下			48
2 日本人の作品数 (作者名等の表示があるもの)		1年	49	82	54
		2・3年上	65	98	88
		2・3年下			53
3 外国人の作品数 (作者名等の表示があるもの)		1年	24	57	24
		2・3年上	90	75	51
		2・3年下			42
4 伝統的な表現の数 (文化財、民芸品等)		1年	19	13	15
		2・3年上	41	61	10
		2・3年下			49
5 埼玉県に関連した作品数 (作品等の紹介に「埼玉県」や地 名が表記されている作品等)		1年	1	0	1
		2・3年上	0	1	0
		2・3年下			

○その他

内容	学年	開隆堂	光村	日文
1 スケッチの数 (作者名等の表示があるもの)	1年	20	15	9
	2・3年上	4	5	3
	2・3年下			5
2 写真・ビデオ・コンピュータ等の 映像メディアの作品の数 (作者名等の表示があるもの)	1年	7	26	3
	2・3年上	14	13	31
	2・3年下			9
3 日本及び諸外国の独特な表現形式 を扱った題材数	1年	5	6	7
	2・3年上	6	6	4
	2・3年下			3
4 漫画、イラストレーション、図を 扱った題材数	1年	2	1	2
	2・3年上	6	4	3
	2・3年下			3
5 地域の素材を扱った題材等の数	1年	0	1	1
	2・3年上	0	1	1
	2・3年下			1
6 美術館等を活用した題材等の数	1年	1	1	1
	2・3年上	0	0	0
	2・3年下			1
7 共働で行う創造活動の作品数	1年	1	1	0
	2・3年上	6	0	0
	2・3年下			8